

中期目標

国立大学法人佐賀大学

国立大学法人佐賀大学 中期目標

(法人番号 75) (大学名) 佐賀大学

中期目標

(前文)大学の基本的な目標

佐賀大学は、地域とともに未来に向けて発展し続ける大学として、地域を志向した社会貢献・教育・研究を推進することで、地域活性化の中核的拠点を目指す。また、総合大学の強みを生かし、グローバルな視野により社会の発展に貢献できる学生を育成・輩出し、地域社会を先導する。

第三期中期目標期間は、佐賀大学改革プランを基盤として、以下の取組を基本的な目標として着実に実行する。

1 地域から求められる大学

教員と職員の知恵を集結させ、さらに、地域との協働により、親しまれ求められる佐賀の大学を創成する。

2 地域の知的拠点

有明海から玄海灘へと続く大地において、文化・伝統・自然の特徴を活かし、教養・芸術・医療・エネルギー・食・生命・環境を基盤とした「知」の拠点として地域の発展に貢献する。

3 国際的な視野で地域でも活躍できる学生の輩出

学生の能動的かつ主体的な学修を育み、幅広い教養教育と質の高い専門教育により、国際的な視野で地域社会で多様に活躍できる学生を育成する。

4 国際から地域に還元した研究

地域の課題解決のために、分野を超えた横断的な研究に積極的に取り組む。また、国際的な研究を地域の研究に還元する。

◆ 中期目標の期間及び教育研究組織

1 中期目標の期間

2016(平成28)年 4月～2022(平成34)年 3月

2 教育研究組織

学部、研究科、共同利用・共同研究拠点については、別表 1、別表 2のとおり

国立大学法人佐賀大学 中期目標

(法人番号 75) (大学名) 佐賀大学

中期目標

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

1 教育に関する目標

(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標

1) 学士課程教育の内容及び成果等に関する目標

【01】 1 学士教育課程の質的転換により、豊かな教養と専門分野の学識を体系的に身につけ、複眼的思考を培い、主体的に学び行動し、地域社会などで多様に活躍できる学生を育成する。

2) 大学院課程教育の内容及び成果等に関する目標

【02】 1 学部・大学院統合型や分野融合型の教育プログラムを編成し、幅広く深い学識を涵養するとともに、教育研究指導を充実して、高度専門職業人を育成する。

(2) 教育の実施体制等に関する目標

1) 教職員の配置に関する目標

【03】 1 教員組織の見直しにより、学士課程・大学院課程の教育目的に即した組織的な教学マネジメント体制を構築する。

2) 教育環境の整備に関する目標

【04】 1 目的を持って主体的に学び行動する学生中心の大学づくりの観点から、教育環境を充実させる。

3) 教育の質の改善のためのシステムに関する目標

【05】 1 組織的な教学マネジメント体制を強化し、主体的に学び行動する学生を育成するための教育の質的転換を実質化する。

(3) 学生への支援に関する目標

【06】 1 学修支援・生活支援・就職支援機能を充実するとともに、特別な支援を必要とする学生への取組を強化する。

(4) 入学者選抜に関する目標

【07】 1 アドミッション・ポリシーに基づき、「確かな学力」を多面的・総合的に評価・判定する方法を導入し、全学的な入試改革を実現する。

国立大学法人佐賀大学 中期目標

(法人番号 75) (大学名) 佐賀大学

中期目標

2 研究に関する目標

(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標

1) 研究水準の向上に関する目標

【 08 】 1 地域に根ざしたイノベーション創出拠点として、国際的水準の基礎的・基盤的研究を推進する。

2) 研究成果の社会への還元に関する目標

【 09 】 1 大学や地域の特性を生かした研究を組織的に推進し、研究成果を積極的に発信することにより、地域社会の発展に貢献する。

(2) 研究実施体制等に関する目標

1) 研究の質の向上のためのシステムに関する目標

【 10 】 1 国際的研究拠点形成を目指す研究実施体制を構築する。

2) 重点領域研究の推進体制に関する目標

【 11 】 1 強み・特色のある独創的・先端的研究体制を重点的に整備し、イノベーション創出に貢献する。

3) 研究支援の充実に関する目標

【 12 】 1 多様な研究者及び研究支援者の確保・育成と競争的な研究環境の醸成により、研究活動を活性化する。

3 社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標

1) 地域活性化の中核的拠点形成に関する目標

【 13 】 1 地域に根ざした教育研究拠点として、学術活動の発展とグローバル化に寄与する。

2) 教育研究の成果を地域社会に還元する目標

【 14 】 1 教育研究の成果を積極的かつ効果的に地域社会に還元する。特に、教員養成分野は、佐賀県教育委員会等との連携により、義務教育諸学校における地域の教員養成機能の中心的役割を担う。

国立大学法人佐賀大学 中期目標

(法人番号 75) (大学名) 佐賀大学

中期目標

4 その他の目標

(1) グローバル化に関する目標

1) 教育のグローバル化に関する目標

【 15 】 1 地域活性化の中核的拠点として、外国人留学生の受入れ及び学生の海外留学を促進し、グローバルな視野を持った人材を育成する。

2) 研究のグローバル化に関する目標

【 16 】 1 アジアを中心に広く海外の研究機関との連携を強化し、地域活性化の核となる国際性豊かな研究拠点としての水準を高める。

(2) 附属病院に関する目標

1) 地域包括医療の拠点としての役割を発揮するための目標

【 17 】 1 地域に開かれた病院として医療の質を向上しつつ、地域貢献を推進する。

2) 臨床研究の推進に関する目標

【 18 】 1 臨床研究を通して社会に貢献する。

3) 医療人育成に関する目標

【 19 】 1 地域で活躍できる優れた医療人を育成する。

4) 病院運営に関する目標

【 20 】 1 運営体制を強化し、健全な経営基盤を確立する。

(3) 附属学校に関する目標

【 21 】 1 附属学校園を大学の教育研究活動の実践の場として活用し、教育委員会との連携の下、地域のモデル校として研究成果を地域に還元する。

国立大学法人佐賀大学 中期目標

(法人番号 75) (大学名) 佐賀大学

中期目標

	II 業務運営の改善及び効率化に関する目標
【22】	1 組織運営の改善に関する目標 1 学長の強いリーダーシップの下で、ガバナンス体制を構築し、教育、研究、社会貢献の機能を強化する。
【23】	2 教育研究組織の見直しに関する目標 1 社会の変化に対応できる教育研究組織の見直しを進める。
【24】	3 事務等の効率化・合理化に関する目標 1 事務職員の人材育成を図り、効率的・効果的な大学運営を進める。
	III 財務内容の改善に関する目標
【25】	1 外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加に関する目標 1 外部研究資金、寄附金及び附属病院収入を含むその他の自己収入の増加を図り、大学の財政基盤を強化する。
【26】	2 経費の抑制に関する目標 1) 人件費の抑制に関する目標 1 大学の経営状況を踏まえ、人件費を効果的に抑制する。
【27】	2) 人件費以外の経費の抑制に関する目標 1 費用対効果を踏まえた管理的経費のコストを抑制する。
【28】	3 資産の運用管理の改善に関する目標 1 保有資産を有効に活用する。

国立大学法人佐賀大学 中期目標

(法人番号 75) (大学名) 佐賀大学

中 期 目 標	
	IV 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標
【 29 】	1 評価の充実に関する目標 1 IRを更に進め、大学経営のPDCAサイクルを高度化し、大学の機能を強化する。
【 30 】	2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標 1 大学の情報をわかりやすい形で示し、説明責任を果たす。
	V その他業務運営に関する重要目標
【 31 】	1 施設設備の整備・活用等に関する目標 1 大学の理念・目的である「魅力ある大学」「社会貢献」を実現するために、快適な教育・研究及び診療環境を整備し活用する。
【 32 】	2 安全管理に関する目標 1 安全管理に深い理解のある人材の育成を図るとともに、安全管理体制の整備を実現することで、安全と環境に配慮した大学運営を進める。
【 33 】	3 法令遵守等に関する目標 1 個人情報漏洩、研究における不正行為、研究費の不正使用防止に向けた法令を遵守する大学作りを進める。

国立大学法人佐賀大学 中期目標

(法人番号 75) (大学名) 佐賀大学

中期目標

別表1(学部, 研究科等)

学 部	教育学部
	芸術地域デザイン学部
	経済学部
	医学部
	理工学部
	農学部
研 究 科	学校教育学研究科
	地域デザイン研究科
	医学系研究科
	先進健康科学研究科
	理工学研究科
	工学系研究科(R3募集停止)
	農学研究科
	(鹿児島大学大学院連合農学研究科参加校)

別表2(共同利用・共同研究拠点, 教育関係共同利用拠点)

【共同利用・共同研究拠点】
海洋エネルギー研究センター